長崎市立大園小学校　校長室だより　Ｎｏ119

11月 今日の一言

８．１１．１９　校長　渕上　卓也

涙



先日の日曜参観、６０周年記念集会には、保護者の皆様に多数ご来校いただき、誠にありがとうございました。校舎内を回りながら、保護者の皆様や弟さん・妹さんとあいさつを交わし、「大園小学校の応援団がこんなにたくさんいるんだなぁ！！」と改めて感じました。これからも頼りにしています。

さて、その日曜参観の中で、４年生は、先週火曜日に、長崎市小学校音楽会でブリックホールにて披露した演目を、体育館で再度聴かせてくれました。合唱「やってみよう」と合奏「ＲＰＧ」、渕上は、練習、本番、日曜参観等何度も聴かせてもらいましたが、聴かせてもらう度に、元気と勇気をもらっています。素敵な曲を、練習に練習を重ねてここまで仕上げて、本当に素晴らしい！！聴く度に、涙ぐんでいました。

「涙」と言えば、小音会当日のことをお話しします。出演を終え、４年生の子どもたちが客席に戻ってきた時のことです。ハイタッチしたり、「とっても上手だったよ。」と声を掛けたりしながら、渕上は客席で迎えていたのですが、男の子の一人が、ハンカチで目頭を押さえながら戻ってきたんですよね。「具合が悪いのかなぁ？」「失敗してしまったのかな？」「嫌なことでもあったのかな？」・・・。当然、渕上は心配になりました。

その日尋ねることはせずに、翌朝に尋ねてみました。「しっかりできたこと。」「素晴らしい合唱や合奏になったこと。」「これまで頑張ってきたこと」・・・感動の涙だった！！とのことでした。やり遂げた充実感を味わえたのですね。こんな思いをいつしたかな？最近ないなぁ・・・自問自答した渕上でした。

４年生の皆さん、本当に本当に感動をありがとうございました。　　渕上深謝

＜今日の一句＞

涙でも
私の涙は
年のせい　卓也

